

## ● スズキ、4—6月営業益44%増と過去最高 インド好調

スズキが8月3日発表した2017年4—6月期の連結決算では、営業利益、純利益ともに過去最高となった。インドなどのアジア、日本、欧州で販売が伸び、同地域で増益となった。為替の円安影響も貢献した。18年3月期通期の連結業績予想は据え置いた。4—6月期の四輪の世界販売は同9.7%増の74万1000台と同期として過去最高を更新した。欧州が19.8%増、日本が8.1%増だった。主力市場のインドが14.3%増、インドネシアも12.3%伸びた。インドについては7月から物品・サービス税(GST)が導入されたが、長尾常務は「長年の懸案だった複雑な税体系が一本化された」と歓迎。物流コストの低減につながり、「インドの経済や景気、自動車販売にもプラス効果になる」として期待を寄せた。二輪の世界販売は同13.1%増の37万8000台だった。インドやインドネシアなどで増えた。前年同期に6億円の赤字だった二輪事業の営業損益は20億円の黒字に転換した。今

- ◆ 面積 : 3,287,263平方km (日本の8.8倍)
- ◆ 人口 : 12億1,019万人 (推計値)
- ◆ 首都 : デリー  
人口1,675万人 (推計値)
- ◆ 言語 : ヒンディー語、英語など
- ◆ 通貨 : インド・ルピー
- ◆ 名目GDP総額 : 124兆8,820億ルピー
- ◆ 実質GDP成長率 : 7.2%

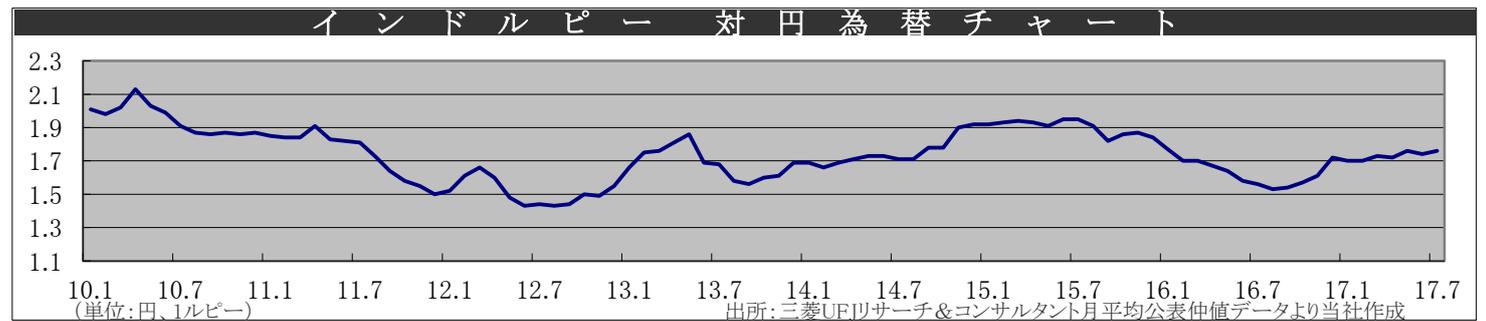
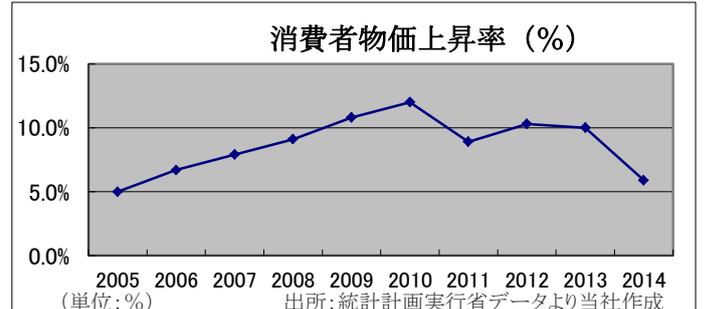
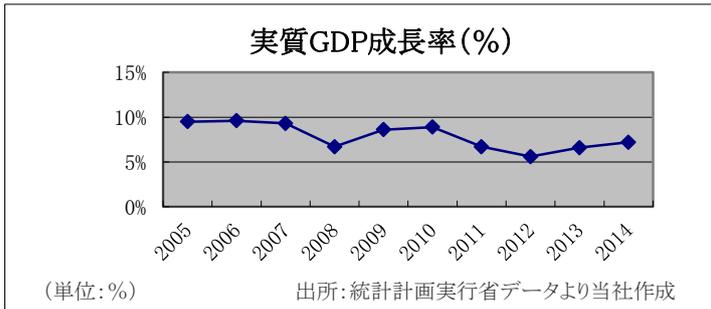
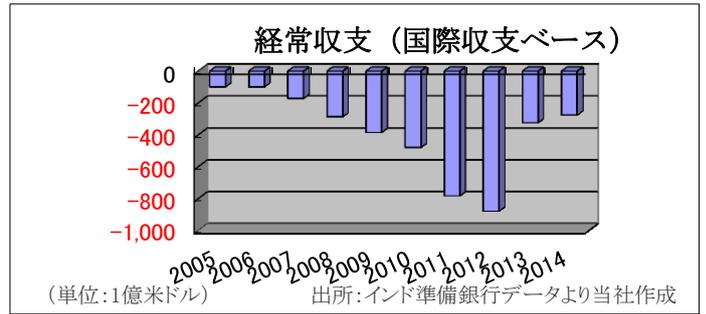
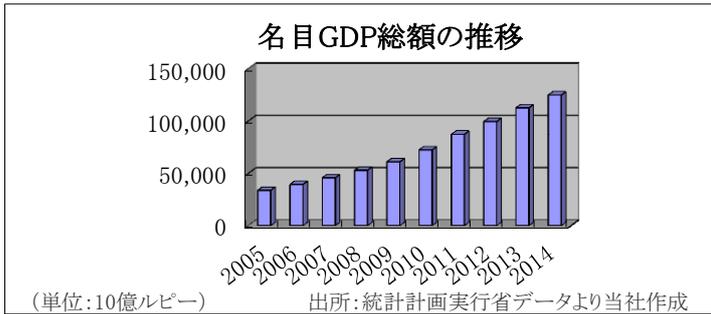
※ 特記ない限り、2014年度数値  
※ 出所：日本貿易振興機構（ジェトロ）

期の連結業績予想は従来通りで、営業利益は前期比10%減の2400億円となる見通し。アナリスト21人の予測平均値は2887億円となっている。今期の四輪の世界販売計画も従来のまま前期比5.2%増の307万1000台を計画する。

## ● 米ボーイング、今後20年インドで最大2100機の受注見込む

米航空機大手ボーイングBA.Nは31日、インドの航空各社から今後20年で最大2100機の受注が見込めると明らかにした。受注総額は2900億ドル相当になる見通し。小型機の受注が大半を占め、ボーイングの「737」や「737 MAX」など1780機の受注が期待できるという。インドの航空市場は急速に拡大しており、ここ数年で国内搭乗者数は約20%増加した。ボーイングの民間航空機部門のアジア太平洋・インド地域の販売担当幹部は、搭乗者数の増加や通貨高、燃料価格安、高水準の座席利用率は、インドの航空市場、とりわけ格安航空会社にとりプラスだとの見方を示した。

※ 出所：ロイター



記載した内容はインドを紹介する目的のもので、記載したデータは2017年8月9日現在のデータの中から任意で選択したものです。また数値等に関して当社が保証するものではなく、将来を示唆するものでもありません。実際に商品のご購入を検討される際は契約締結前交付書面、販売説明書および販売資料等をご確認くださいようお願いいたします。